



令5年4月22日

補習校だより

No.1 文責 中村清忠

令和5年度がスタート

3校舎合わせて、新たに小学部1年生179名、中学部1年生74名、日本語科1年生16名、高等部1年生20名が入学、全校児童・生徒数1148名で令和5年度がスタートしました。子どもたちに国語力と豊かな人間性を育むために教職員が一丸となって教育活動を展開していきますので、令和5年度もよろしくお願いいたします。



☆ 入学式 ☆

今日は各校舎で入学式を行い、「元気よくあいさつできる子」「先生の話をよく聞ける子」という願いを中心に話しました。

元気よくあいさつすると、言われた人はとてもうれしい気持ちになります。元気よくあいさつすると、さあ頑張るぞという気持ちがわきあがってきます。

学校を休まず、先生の話をよく聞ける子は勉強がしっかりできるようになり、学校が大好きになります。

あいさつはコミュニケーションの基本であること、学びの入り口は聞くことや読むことであるという思いから、この二つを話しました。今日からお子様は、同時に二つの言語で学びを進めます。これは相当に大変なことです。ですから、時にはつらいことがあるかもしれません。子どもたちが成長し、大輪の花を咲かせる、その姿を想像しながら、その時は是非お子様の気持ちに寄り添い、話を聞いてあげてください。

星 座

作家の川上未映子さん、世界でもっとも新作が待たれている作家の一人。その川上さんは次のようなメッセージを発信しています。

「ひとの幸せはずっと線のように持続するものではなく、流れ去る人生のそこかしこに点在するもの。あの日あのときあのひとが、あんなことを言ってくれた。こうした点をつないでできる星座のようなものが幸せというものではないだろうか」

新入生にとっては入学式、在校生にとっては始業式です。家族からのお祝いの言葉や励ましの一言、担任の先生からは共に学ぶことへの喜びの一言があったのではないのでしょうか。

補習校には、いろいろなところに「チャンス」があります。「チャレンジ」できます。そして、自分を「チェンジ」することができます。今日のこの日が、皆さんの胸の中で一つの点となり、星と輝き、将来それが別の点とつながり、きれいな星座を紡ぎ出してくれることを、心から祈っています。

皆さんには限りない可能性があります。しっかり前を向いて歩みを進めてください。